

高崎駅にて

家人から嫌がられる私の癖。性分でもいうのか、どこに出かけても、プライベートでも「視察的」過ぎるらしく、「お父さんと出かけても楽々しない」と家内はもちろん、子どもたちにも言われたことも。あの1月23日の東京〜大宮間で発生した新幹線の架線故障による運転見合わせ（ちょうど上京出張）でもやはり癖が出た。

架線故障の影響でダイヤは大混乱。しかし、上越・北陸新幹線はJRの懸命な対応で高崎から新潟・金沢間で折り返し運転との情報。私は「何とか帰ろう」と初めて乗る東京上野ラインに。各駅停車で高崎までの所要は2時間超。車内は満員で東京を出て1時間もすると周囲のご婦人たちから「トイレに行きたい」という会話が聞こえ始めましたが、1時間に数本と思われる電車を途中下車することへの不安からか皆が我慢している様子。私もそうで高崎駅到着と同時に駆けるように多くがトイレへ。そこには長蛇の列が。駅構内は、始発・終着駅化した旅客で溢れかえっていました。矢継ぎ早の質

問攻めに必死に対応されているJRの職員さんも往復便の正確な出発時刻が示せない。外国人観光客も多数。情報が伝わりにくく、皆が苛立ち殺気立った雰囲気。思ったのは、渋谷のDJポリスのような音量の大きさと落ち着いたメッセージで仕切る対応の必要性。同時に、3年前の大雪による関越自動車道の立ち往生も頭によぎりました。行政として事前の対応準備ができていなかった苦い経験と反省。当事者は麻痺する、故に有事の際の行政、警察、救急など外部の連携支援が絶対に必要なこと。

群集心理に肝も冷やしました。折り返し便が予定時刻を前倒しで発車、「次の便は未定なのでなるべく乗車を！」、このアナウンスを機に皆がわれ先に構内を走りホームへの階段を駆け上がった。私も人波に押され、急いだ1人。泣く子どもを抱えたお母さんや高齢のご夫婦におつからないようにするのが精一杯で手伝うこともできなかったことが恥ずかしく、悔やまれてなりませんでした。視察を超えた体験、活かさなければ。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~boast of my country~

シリーズ 第131回

イタリア共和国 アレサンドロ ザーボさん

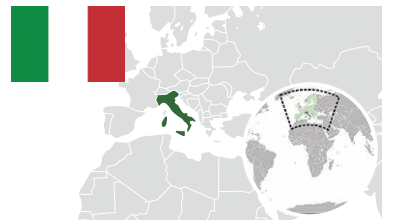


私の国はこんなところ

イタリアは世界で最も美しい国のひとつといわれます。美しい風景やローマ時代にさかのぼる近代的で歴史的な建築物があること、また、休暇をリラックスして過ごせる穏やかな海辺のロケーションがあることを誇りに思っています。イタリアの美しさを満喫するには、トスカーナに行ってみてください。都会的な風景から田園風景まで、さまざまな風景が楽しめるだけでなく、トスカーナの美味しい郷土料理も楽しめます。イタリア料理は日本でもよく知られていて、ナポリピザ、ソースの種類が豊富なパスタ、生野菜やチーズをはさんで焼くパンのパニーニなど、種類がたくさんあります。

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼は私にとって特別な場所です。人生の大きな転機を経験したのも、親しい友人たちと出会ったのも、南魚沼です。とても静かな環境の中に、元気が出る雰囲気漂っています。お気に入りの場所は八海山麓スキー場です。冬はスキーをしたり、夏の暑い日は散策をしたり、1年中楽しめる場所です。また、浦佐にあるラーメン屋もおいしくて好きです。



編集後記

雪国の冬ならではの雪遊びの様子を取材させていただきました。降り積もった雪がきれいに輝く晴れ間の中、思いきり体を使って雪遊びを楽しむ子どもたちの笑顔がそれ以上にキラキラと輝いていたのが印象的で、元気をもらいました。(M・A)

今月の表紙

青空が広がり雪遊び日和となったこの日、めぐみ野こども園では今シーズン初めての雪遊びが行われました。園児たちは降り積もったばかりの雪の上を走り回ったり滑ったりして、雪の感触を楽しんでいました。

市民の動き 令和6年1月末日現在 ()は対前月比

●人口 53,254人(-70) / 男 26,073人(-27) 女 27,181人(-43) ●世帯数 20,336 (-56)